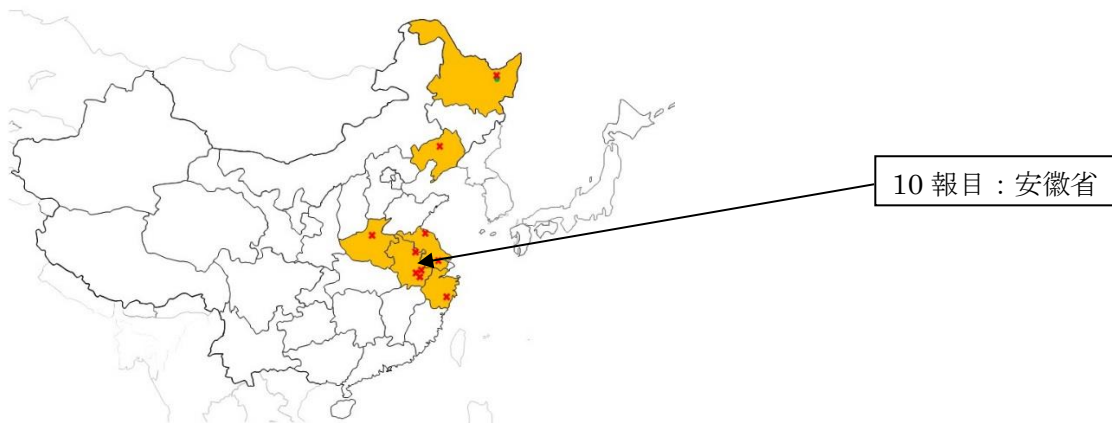


(10 報目) 9 月 6 日公表 発生数：1 農場

中国で 10 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 6 日および 10 月 19 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

< 場所 >

安徽省 (あんきしょう) 滁州市 (じょしゅうし) 鳳陽県 (ほうようけん) の農場



< 経緯 >

9 月 6 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省滁州市鳳陽県にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 886 頭の豚を飼育しており、そのうち 62 頭が症状を呈し、22 頭が死亡。

< 中国当局の対応 >

中国当局は、指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

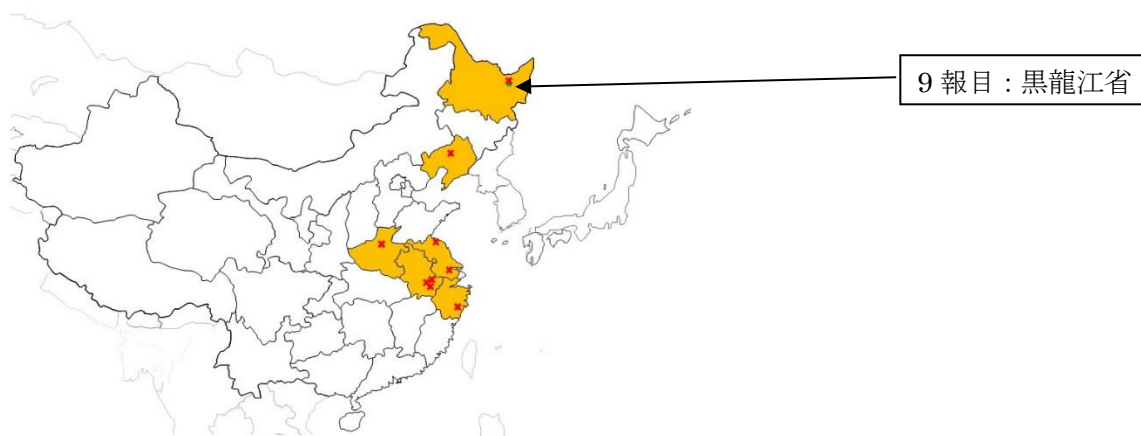
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 20 日 0 時を以て、安徽省滁州市鳳陽県のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(9 報目) 9 月 5 日公表 発生数：1 農場

中国で 9 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 5 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

黒龍江省 (こくりゅうこうしょう) 佳木斯市 (じゃむすし) 郊区 (こうく) 長青郷 (ちょうせいこう) の農場



<経緯>

9 月 5 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、黒龍江省佳木斯市郊区長青郷にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 87 頭の豚を飼育しており、そのうち 39 頭が症状を呈し、12 頭が死亡。

<中国当局の対応>

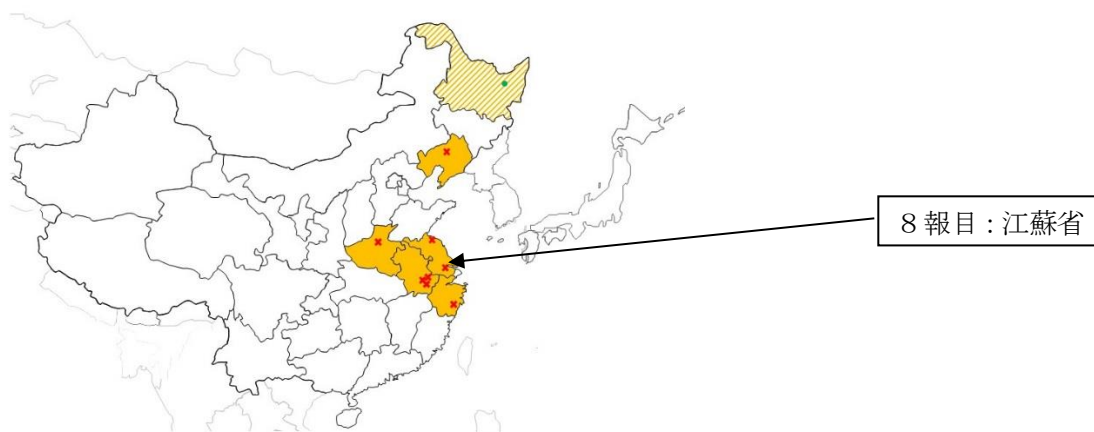
中国当局は、黒龍江省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。さらに、8 週間のモニタリングと調査を継続した結果、11 月 2 日、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、11 月 12 日を以て黒龍江省佳木斯市郊区のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(8 報目) 9 月 3 日公表 発生数：1 農場

中国で 8 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 3 日と 10 月 16 日に発表したプレスリリースおよび OIE 報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

江蘇省 (こうそしょう) 無錫市 (むしゃくし) 宜興市 (ぎこうし) の農場



<経緯>

9 月 3 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、江蘇省無錫市宜興市にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 97 頭の豚を飼育しており、そのうち 12 頭が症状を呈し、9 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、江蘇省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

9 月 4 日までに、疫点全 88 頭、疫区全 22 頭の豚の殺処分が完了。死亡豚および殺処分豚は生物学的に安全な方法で処理された。江蘇省では、封鎖、消毒、サーベイランス、スクリーニングを継続実施中。

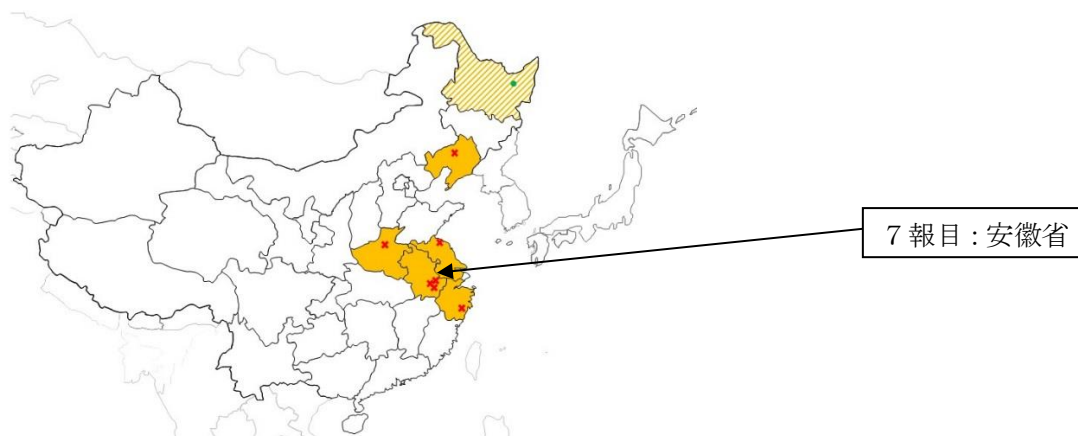
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 17 日 0 時を以て、江蘇省無錫市宜興市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(7 報目) 9 月 3 日公表 発生数：1 農場

中国で 7 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 9 月 3 日および 10 月 17 日に発表したプレスリリースの概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 宣城市 (せんじょうし) 宣州区 (せんしゅうく) 金壩街道 (きんはかいどう) の農場



<経緯>

9 月 3 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省宣城市宣州区金壩街道にてアフリカ豚コレラが確定診断された。当該農場では 308 頭の豚を飼育しており、そのうち 152 頭が症状を呈し、83 頭が死亡。

<中国当局の対応>

発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

9 月 4 日時点で、疫区の殺処分を進行中であり、620 頭を淘汰済み。

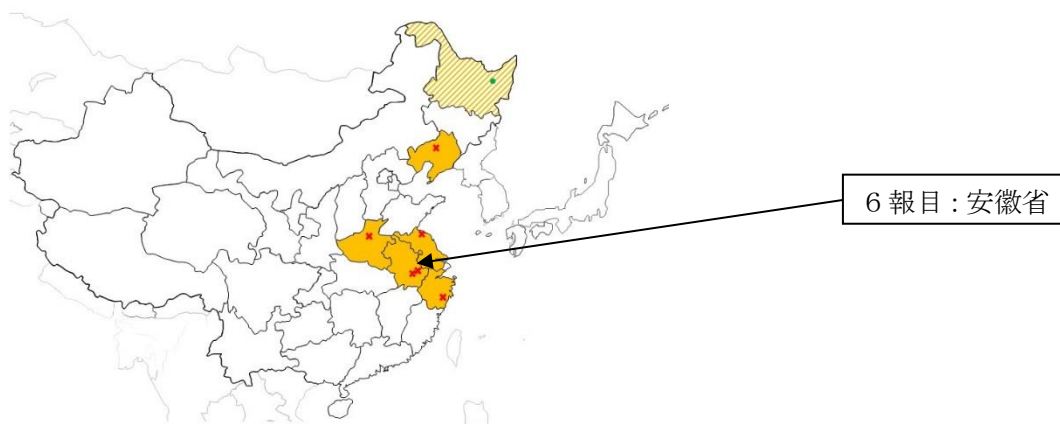
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 17 日 0 時を以て、安徽省宣城市宣州区金壩街道のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(6報目) 9月2日公表 発生数：2農場

中国で6報目のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が9月2日および10月17日に発表したプレスリリース、農林水産省が9月3日に在中国日本大使館より入手した情報等の概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省（あんきしょう）宣城市（せんじょうし）宣州区（せんしゅうく）古泉鎮（こせんちん）および五星郷（ごせいごう）の農場



<経緯>

9月2日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、安徽省宣城市宣州区古泉鎮および五星郷にてアフリカ豚コレラが確定診断された。古泉鎮の養豚農場では285頭の豚を飼育しており、そのうち63頭が症状を呈し、42頭が死亡、五星郷の養豚農場では440頭の豚を飼育しており、そのうち153頭が症状を呈し、111頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、安徽省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

9月4日時点で、疫区の殺処分を進行中であり、古泉鎮では3425頭、五星郷では1393頭を淘汰済み。

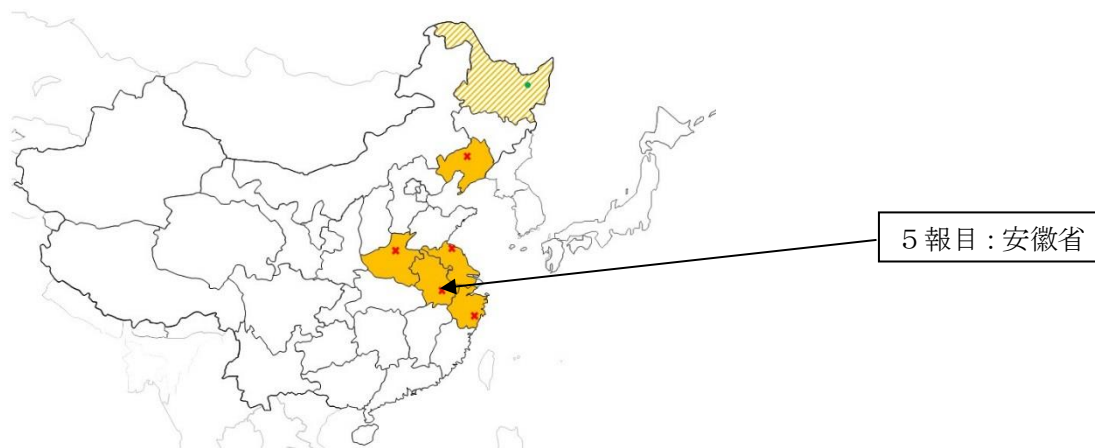
疫区の豚の淘汰完了後、6週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10月17日0時を以て、安徽省宣城市宣州区古泉鎮および五星郷のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(5 報目) 8 月 30 日公表 発生数：1 農場

中国で 5 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 30 日および 10 月 17 日に発表したプレスリリース、8 月 31 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

安徽省 (あんきしょう) 蕪湖市 (ぶこし) 南陵県 (なんりょうけん) の農場



<経緯>

8 月 29 日 安徽省蕪湖市南陵県の豚農場において、原因不明の死亡豚を確認。同農場は 459 頭の豚を飼養しており、185 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 80 頭が死亡。

8 月 30 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。

<中国当局の対応>

中国当局は、安徽省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。同農場で飼育されている豚 379 頭を淘汰・無害化处理済み。

9 月 4 日までに疫点 379 頭、疫区 1359 頭の殺処分が完了。

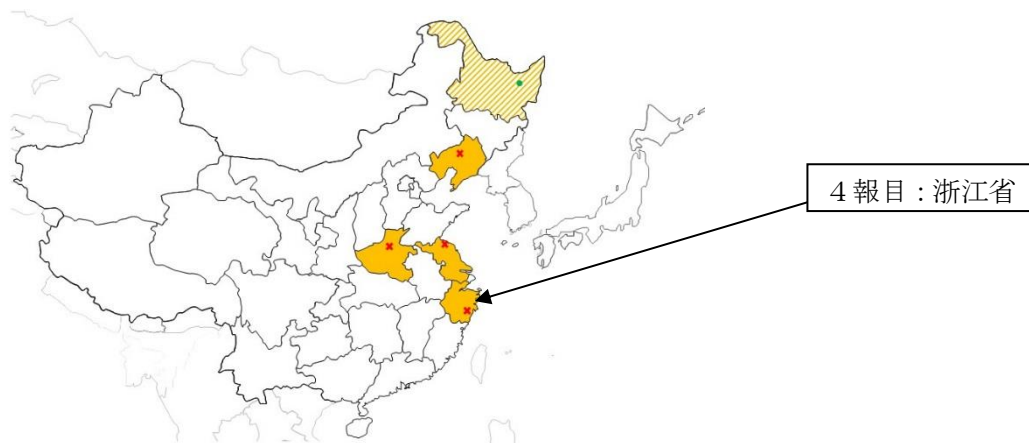
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 18 日 0 時を以て、安徽省蕪湖市南陵県弋江鎮のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(4 報目) 8 月 23 日公表 発生数：3 農場

中国で 4 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 23 日および 10 月 10 日に発表したプレスリリース、8 月 23 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

浙江省 (せつこうしょう) 温州市 (おんしゅうし) 樂清市 (がくせいし) の養豚繁殖農場



<経緯>

8 月 17 日 浙江省温州市樂清市の 3 件の繁殖豚農場において、原因不明の死亡豚を確認。

8 月 22 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。8 月 23 日現在、430 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 340 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、浙江省へ指揮団を派遣。発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

疫区における封鎖、消毒、スクリーニングを継続実施中。8 月 26 日までに殺処分は完了しており、死亡豚含め、1,864 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

8 月 29 日までに、116,000 農場 43,148,500 頭のスクリーニング検査を実施済み。

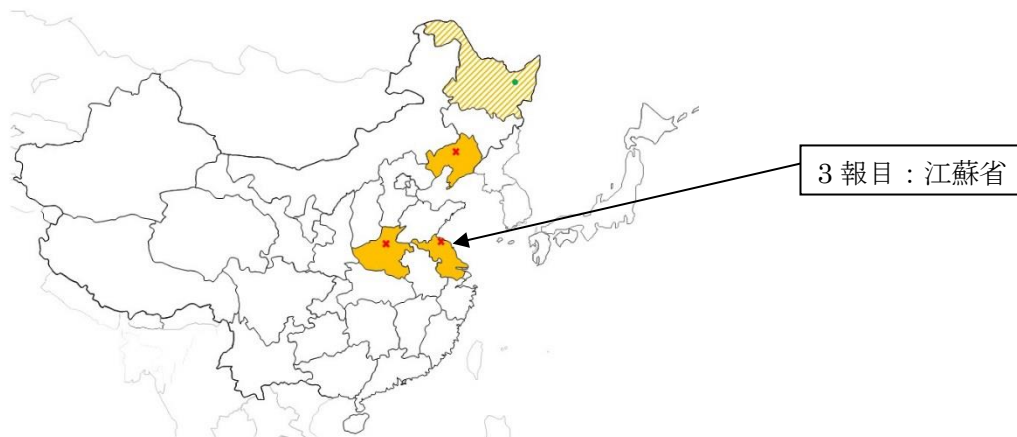
疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 10 日 15 時を以て、浙江省温州市樂清市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(3 報目) 8 月 19 日公表 発生数：1 農場

中国で 3 報目のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 19 日および 10 月 3 日に発表したプレスリリース、8 月 19 日に OIE へ報告した内容の概要は以下のとおり。

<場所>

江蘇省 (こうそしょう) 連雲港市 (れんうんこうし) の農場



<経緯>

8 月 15 日 江蘇省 (こうそしょう) 連雲港市 (れんうんこうし) の農場において、原因不明の死亡豚を確認。

8 月 19 日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定。確定時までには 615 頭でアフリカ豚コレラの症状が認められ、そのうち 88 頭が死亡。

<中国当局の対応>

中国当局は、江蘇省へ指揮団を派遣し、発生地では封鎖、淘汰、無害化处理、消毒等の緊急対応の措置を講じ、全ての豚および感受性動物および畜産物が封鎖区域へ出入りすることを禁止した。

9 月 3 日には、死亡豚を含め、14,686 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

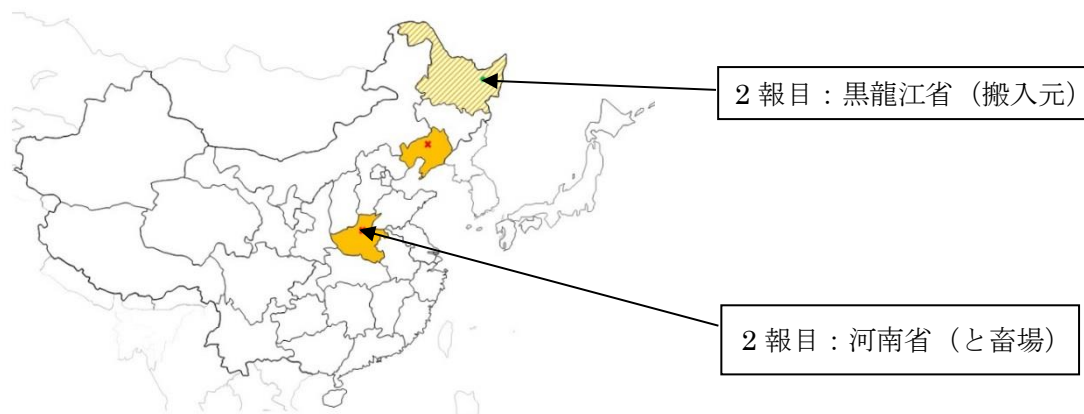
10 月 3 日、疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10 月 4 日付けで江蘇省連雲港市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(2報目) 8月16日公表 発生数：1施設

中国で2報目のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局が8月16日と9月30日に発表したプレスリリースおよびOIEへ報告した内容等の概要は以下のとおり。

<場所>

河南省（かなんしょう）鄭州市（ていしゅうし）のと畜場



<経緯>

8月14日 黒龍江省（こくりゅうこうしょう）佳木斯市湯原県（じゃむすしとうげんけん）から河南省鄭州市に搬入された260頭の豚のうち、死亡した30頭の豚でアフリカ豚コレラの症状が認められた

8月16日 中国農業農村部 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査の結果、アフリカ豚コレラと確定

<中国当局の対応>

中国当局は、河南省鄭州市のと畜場を発生地点とし、半径3kmを疫区、10kmを脅威区域と設定。全ての死亡豚、殺処分された豚の消毒、疫区の隔離、封鎖、安全管理、情報管理等の対応を開始。また、豚の搬入元である黒龍江省では疫学調査を実施。

9月3日には、死亡豚を含め、1,806頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

河南省では疫区における封鎖、消毒、スクリーニングを継続実施中。8月19日までに殺処分は完了しており、疫点1,349頭、疫区427頭の計1,776頭を殺処分した。8月29日までに、229,600農場54,178,000頭のスクリーニング検査を実施し、異常は見つかっていない。黒龍江省では追跡調査が実施され、8月26日までに、27,800農場39,547,000頭のスクリーニング検査を実施し、異常は見つかっていない。

9月30日、疫区の豚の淘汰完了後、6週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られたため、10月1日付けで河南省鄭州市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。

(1 報目) 8 月 3 日公表 発生数：5 農場

中国で初のアフリカ豚コレラ (ASF) 発生事例について、中国当局が 8 月 3 日、4 日、10 日、16 日、9 月 7 日に OIE へ、8 月 6 日に在中国日本大使館へ情報提供した内容等の概要は以下のとおり。

<場所>

遼寧省 (りょうねいしょう) 瀋陽市 (しんようし) 瀋北新区 (しんほくしんく) の 養豚繁殖農場 (383 頭飼養) および周辺農場



<経緯>

8 月 1 日	疑い事例確認 (383 頭のうち 47 頭が死亡)
8 月 2 日午後 5 時	中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査開始
8 月 3 日午前 11 時	ASF 確定 (遺伝子検査 (リアルタイム PCR))

<中国当局の対応>

中国当局は、発生農場から半径 3km の範囲を疫区に設定し、発生農場含む疫区内の全ての豚 8,116 頭の殺処分・消毒を完了。発生農場および疫区における厳格な封鎖・消毒等を継続。疫区内に計 8ヶ所の消毒地点、疫区内の全ての農場、出入りする車両等に対し消毒を実施中。中国当局は農場、市場、と場、工場、家畜又は畜産物処理場を含む地点における疫学調査と緊急サーベイランスを、重要区域 (北京市、天津市、河北省、内蒙古自治区、遼寧省、吉林省、黒龍江省、広東省、甘肅省、新疆ウイグル自治区) を中心に全土で実施しており、8 月 14 日までに 35,540,000 頭、10,226 サンプルの調査を終え、脅威区域 (発生地点から 3-50km 圏内で設置。実際の距離は不明。) 内の 2ヶ所の村から採材された 7 サンプルでアフリカ豚コレラ核酸陽性。当該の村の生きた豚は淘汰された。7つの新たな陽性例は瀋北新区の 2つの町の 4 農場から採取した 59 サンプルから確認された。7つの事例の詳細は以下のとおり。

農場①160 頭飼養、15 頭採材、3 頭陽性 ②55 頭飼養、10 頭採材、1 頭陽性 ③216 頭飼養、20 頭採材、2 頭陽性 ④140 頭飼養、14 頭採材、1 頭陽性。

また、発生農場の豚の追跡調査により、感染豚の由来農場が判明。環境サンプルはアフリカ豚コレラ核酸陽性。由来農場付近の 676 頭の豚を淘汰。

9 月 3 日現在、死亡豚を含め、19,420 頭の豚を淘汰・無害化处理済み。

遼寧省では、8 月 29 日までに、246,100 農場、63,861,600 頭をスクリーニング。

9 月 29 日、疫区の豚の淘汰完了後、6 週間のモニタリングと調査を継続した結果、疫区の封鎖を解除するための基準を満たしているとの地方政府の判断および農業農村部の承認が得られ

たため、遼寧省瀋陽市のアフリカ豚コレラ疫区における封鎖が解除された。